令和○○年度　◆◆小学校　特別活動　全体計画（例）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 児童の実態 |  | 学校の教育目標　　豊かな心と確かな学力を身に付けた心身ともに健康な児童の育成 |  | 保護者・地域の願い |
|  |  | （１）基礎的・基本的な知識及び技能を主体的に習得して、自分のものとして活用できる力の育成（２）児童自らが思考を広げたり深めたりしながら、新たな知識や価値を創造する力の育成（３）学んだことを自分や生活との関わりで捉え、自分の生活や生き方に役立てようとする態度の育成 |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 特別活動の目標（学習指導要領） |  |
|  | 集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。(1)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。(2)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。(3)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。 |  |
| 地域の実態 |  |  | 教職員の願い |
|  |  |  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 家庭・地域との連携 |  | 学級活動の目標 | 児童会活動の目標 | クラブ活動の目標 | 学校行事の目標 |  | 各教科等との関連（各教科、道徳科、外国語活動、総合） |
|  |  | 学級や学校での生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第１の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。 | 異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1 の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。 | 異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、第１の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。 | 全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第１の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。 |  |
|  |  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  | 本年度の特別活動の重点目標 |  |
|  |  |  |
|  |  |

|  |
| --- |
| 各学年の目標 |
| 低学年 | 中学年 | 高学年 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 学級活動 | 児童会活動 | クラブ活動 | 学校行事 |
| 指導方針 | 〇自らよりよい生活を築くために合意形成をする話合い活動や自分たちでルールを作って守る活動、責任感や自尊感情を高める活動を重視する。〇学級活動（３）の学習においては、キャリア・ノートを積極的に活用し、これまでの学習活動の振り返り等を行う。 | 〇よりよい学校生活を主体的に築くための話合い活動や集団への寄与など、自治的能力の育成を重視する。 | 〇個性を伸長し、楽しい学校生活や人間関係を築く力の育成を重視する。 | 〇学校への所属感や連帯意識を深め、共同の意義、自然や文化の大切さを実感できる体験活動を重視する。 |
| 内容及び留意点 | （１）学級や学校における生活づくりへの参画ア学級や学校における生活上の諸問題の解決イ学級内の組織づくりや役割の自覚ウ学校における多様な集団の生活の向上（２）日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全ア基本的な生活習慣の形成イよりよい人間関係の形成ウ心身ともに健康で安全な生活態度の形成エ食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成（３）一人一人のキャリア形成と自己実現ア現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成イ社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解ウ主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用・計画委員会は輪番制とし学級の全児童で組織する。・係活動や集会活動は児童の発達段階を考慮して組織する。・学級担任が中心となり指導するが、必要に応じて養護教諭、栄養教諭、司書教諭、地域の方等と連携を図る。・共通事項の内容を関連付けたり、統合したりして精選する。 | （１）児童会の組織づくりと児童会活動の計画や運営（２）異年齢集団による交流（３）学校行事への協力・4 年生以上の各学級代表男女各1 名、各委員会の代表によって組織する。必要によってはクラブ活動の代表等（縦割り班班長）が参加する。・毎月第3 月曜日6 校時に実施(定例)し臨時的にも行う。・運営委員会を中心に企画立案する。委員会活動・5 年生以上の全児童で分担する。所属は通年制とする。・毎月第1 木曜日第6 校時を定例活動とし、その他常時活動を行う。・各委員会では委員長、副委員長、記録を互選する。 | （１）クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営（２）クラブを楽しむ活動（３）クラブの成果の発表・第4 学年以上の全児童をもって組織する。・毎週木曜日（第1 を除く）の第6 校時を活動時間に充てる。・全教師で分担し指導する。・年度初めに、組織・活動計画について話し合い決定する。・各学期の終わりに成果をまとめ、次の学期に生かす。・共通の興味関心を児童相互の創意や工夫を生かしながら活動（追求）する。・学年末にクラブ見学（3 年生）とクラブ発表を行い、活動の成果発表の場とすると共に来年度の所属の参考とする。 | （１）儀式的行事・学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行うこと。【入学式、始業式、終業式、卒業式、修了式、離任式など】（２）文化的行事・平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすること。【学習発表会、校内音楽祭　など】（３）健康安全・体育的行事・心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全や行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。【運動会、健康診断、避難訓練、交通安全教室、防犯教室など】（４）遠足・集団宿泊的行事・自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。【＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊、修学旅行など】（５）勤労生産・奉仕的行事・勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。【＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊など】 |
| 時数・組織等 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時数 | 内容（１） | 内容（２） | 内容（３） |
| １年 | ○○時間 | ○○時間 | ○○時間 |
| ２年 | ○○時間 | ○○時間 | ○○時間 |
| ３年 | ○○時間 | ○○時間 | ○○時間 |
| ４年 | ○○時間 | ○○時間 | ○○時間 |
| ５年 | ○○時間 | ○○時間 | ○○時間 |
| ６年 | ○○時間 | ○○時間 | ○○時間 |

 | 委員会は次の通りとする。・運動委員会・放送委員会・保健委員会・図書委員会・飼育委員会・給食委員会・生活委員会　　など全教職員で指導に当たる。 | クラブは次の通りとする。・●●クラブ・〇〇クラブ・〇〇クラブ・一つのクラブに教師が〇名 |

|  |  |
| --- | --- |
| 学年 | 時数 |
| １　年 | ○○時間 |
| ２　年 | ○○時間 |
| ３　年 | ○○時間 |
| ４　年 | ○○時間 |
| ５　年 | ○○時間 |
| ６　年 | ○○時間 |

 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 学級経営 |  | 生徒指導 |  | 進路指導 |  | 学習の評価 |
|  |  |  |  | ・学級活動（３）の学習において、キャリア・ノートを計画的に活用する。 |  | ・評価の観点を、「よりよい生活を築くための知識・技能」「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」として、各内容の評価を行う。 |